

<ロタウイルスワクチンとは>

ロタウイルスは、冬～春に流行する乳幼児胃腸炎の原因ウイルスです。症状は、発熱、嘔吐、下痢などで、しばしば脱水症状になります。また、けいれんを起こしたり、肝機能障害、脳症などを発症し死亡することもあります。特効薬はなく水分補給、整腸剤の内服などを行います。

ロタウイルスワクチンには2種類あり今のところ両方ともにほぼ同じ良い効果を示しています。

①ロタリックス(1価ワクチン)

・・・4週間隔で**2回接種する飲むワクチン(経口生ワクチン)**

一番頻度の多い1種類のロタウイルスを弱毒化したワクチンです。

1種類のロタウイルスのみ含みますが、他のロタウイルスにも有効といわれています。

生後6週から、生後24週までに2回接種します。生後24週を過ぎると接種できません。

②ロタテック(5価ワクチン)

・・・4週間隔で**3回接種する飲むワクチン(経口生ワクチン)**

5種類のロタウイルスから作られたワクチンです。

生後6週から、生後32週までに3回接種します。生後32週を過ぎると接種できません。

<接種費用>

ロタリックス 1回14000円 × 2回

ロタテック 1回 9000円 × 3回

<接種にあたっての注意事項>

1回目は生後14週6日までに行うことが推奨されています。

ワクチン接種後もロタウイルスには感染しますが軽症になると言われています。

接種に当たってはそれぞれのワクチンの詳細な説明書をご確認ください。

副反応として、まれに腸の一部が内側に入り込む「腸重積」という病気を発症することがあります。内服数日後に、急に機嫌が悪くなり、嘔吐、血便等が出る場合はすぐに受診してください。

他のワクチンとの同時接種も可能ですので御希望の方は医師にご相談ください。